

病院の実力「膀胱がん」医療機関別2022年治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	全摘手術 (件)	経尿道的切除術 (件)	「アラグリオ」使用 (23年3月時点) (人)	抗がん剤後の「新しい薬」 物療法 (人)
がん研有明	66	281	○	43
杏林大	41	185	○	18
東京医科歯科大	21	180	○	25
慈恵医大	21	178		26
国立がん研究センター中央	21	103		34
東京大	18	149	○	37
東京女子医大足立医療セ	16	117		35
東京医大	14	166	○	19
帝京大	14	135	○	23
東京国際大堀	14	107	○	6
日本医大	13	160	○	43
長久保	13	149		0
三井記念	13	149	○	5
順天堂大練馬	13	133		22
都立多摩総合医療セ	11	116	○	18
NTT東日本関東	11	101		20
慶応大	10	135	○	37
東邦大森	10	129		1
東京女子医大	10	111		12
順天堂大	9	158	○	23
町田市民	9	131		21
国立国際医療研究セ	9	92		7
東海大八王子	8	149		17
昭和大	7	113	○	9
聖路加国際	7	64	○	3
慈恵医大葛飾医療セ	6	161		4
日大板橋	6	135	○	27
武蔵野赤十字	6	132		5
青梅市立総合	6	97		1
同愛記念	5	154		18

「セ」はセンター、「○」は無回答または不明、「○」は実施

医療機関名	全摘手術 (件)	経尿道的切除術 (件)	「アラグリオ」使用 (23年3月時点) (人)	抗がん剤後の「新しい薬」 物療法 (人)
明理会東京大和	5	90		0
昭和大江東豊洲	5	69		4
都立駒込	4	136	○	10
慈恵医大第三	4	99		21
東京西徳洲会	4	72		4
虎の門	3	158	○	27
板橋中央総合	3	56		3
練馬光が丘	2	81		10
東京医大八王子医療セ	2	77	○	—
稲城市立	2	57		0
国際医療福祉大三田	2	34	○	3
公立昭和	1	111	○	5
練馬総合	1	77		1
日本大	1	40		7
都立豊島	1	29		1
順天堂大東京江東高齢者医療セ	1	2	○	1
東邦大大橋	1	0	○	2
都立墨東	0	120		1
東京都立多摩南部地域	0	94	○	13
公立福生	0	83	○	2
都立大塚	0	73		6
東京通信	0	63	○	4
日野市立	0	61		0
荻窪	0	55		4
JR東京総合	0	40		4
平成立石	0	40		0
西東京中央総合	0	40		0
厚生中央	0	29		0
佐々総合	0	13		0

病院の実力

膀胱がん

内視鏡で悪性度検査

今回は膀胱がんを取り上げる。一覽表には、2022年①カリフラワール状の腫瘍が、治療では、尿道から内視鏡を入れ、先端に装着した電気メスでがんを切除する経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)を最初に行う。がんの悪性度などの検査も兼ねている。

2年の手術件数などの治療実績を示した。患者数は男性が女性の約3・5倍で、60歳以上が9割以上を占める。タイプは、転移する——に分けられる。

がんのタイプなどによって治療法は異なる。がんが粘膜などにとどまっていれば、TURBT後に膀胱内に薬剤を注入して再発を防ぐ。がんが平らに広がるタイプは見落としやすいため、がん細胞に集まる薬「アラグリオ」を使う施設もある。青い光を当てると、がん細胞がある場所が赤く光るため、正常な組織との区別がつきやすくなる。

がんが筋層に入り込んでいると全摘が基本になるため、膀胱の代わりとなる仕組みを作る必要がある。転移がある場合は薬物療法が中心で、まずは抗がん剤治療を行う。効果を維持する免疫治療薬や新しいタイプの薬が登場しており、治療の選択肢が広がっている。

全国の調査結果は21日の「安心の設計面」に掲載しました。

(C)読売新聞社 無断転載・複製禁止。放送、出版等での二次利用の際は読売新聞社 記事利用担当 (mail: t-chizai06@yomiuri.com tel:03-6739-6961)まで。